

昭和60年7月1日発行

J.P.C

No.29

打楽器あれやこれや…vol.6

岡田 知之

NHK交響楽団打楽器奏者
国立音楽大学助教
東京芸術大学講師



トーキング・ドラム Talking drum

その名のとおりに話をする太鼓。本来は高低2種の音程を持つ2個の太鼓を使い、人間の言葉に近いリズムや音色を叩き出すアフリカの楽器。その楽器は人の胸囲までの高さのある大きなものであるが、一般的に使いやすく作られた楽器としてウエステッド型（胴の中央が細くくびれた形）の胴の両面のヘッドをひもでつなぎとめ演奏の際はそのひもをわきの下にはさんで、腕をしめたりゆるめたりしてヘッドの張力をかえ音程をつくり出すものが市販されている。打つ物は先端を直角に曲げた木の棒を用いる。太鼓の一般的なイメージにあるような大きさではないけど、素朴な雰囲気「土」の音といった感じの太鼓である。

トムトム Tomtom

一般にはタムタムとも呼ばれて親しまれている太鼓。サイズは直径の小さいものは18cm（6インチ）から大きいものは60cm（20インチ）位まで、胴の深さは17cm位から55cm位まで各メーカーにより種々のサイズが製作されている。タムタムという呼び名はTomtomの英語的な発音からきている。大型銅羅のタムタムと混同しないように注意を要する。ヘッドが片面張りのものと両面張りの2種あり、片面張りのトムトムはコンサート・トムトムとも呼ばれている。サイズが大きいトムトムはその胴に3本の足をつけフロア・トムトムと名づけられジャズドラムセットでは欠かせないものになっている。昔の演奏ではジーン・クルーパの“Sing sing sing”の冒頭のトムトムの響きは忘れがたいリズムである。ライオネル・ハンブトンがその昔新宿厚生年金ホールに来演した際、フロアトムトムのヘッドの上にハンブトンがとび乗りリズムに合わせて踊るのを見たことがある。どのような仕掛けになっていたのかわからないが、ずいぶん頑丈な太鼓があるものだと感心して見ていたことがあった。

銅 羅

近頃は飛行機が発達し外国航路などの船の旅は限られたものとなっているが、船の出航時間が近づいたことを知らせる銅羅の音はえもいえず雰囲気を作り出すものである。小生も幼小の頃中国大陸迄船旅を経験したことがあるが、出航の銅羅の音と食堂のオムレツの味だけはいまだに頭の片すみにしっかりと焼きついている。銅羅の種類は世界各国でそれぞれあり、形やサイズを一定することは出来ない。中国には大羅・小羅・雲羅といわれる銅羅がある。大羅はやや大きめのサイズで、打ち物は頭部が丸い常識的な撥を使う。小羅は直径20cm位のもので銅羅にひもをつけず楽器を直接手で持って、打ち物は幅5cm位で長さ20cm位のうすい板を用い、板を直角に銅羅に打ち当てると音程がグリッサンドして上ずる特徴を持っている。中国では葬式などにも銅羅がにぎやかに用いられる。雲羅というのは10～12個の全て同じサイズの銅羅を枠の中に吊るして奏するものである。サイズは同じでも厚さの違いにより、それぞれが異った音程を持っている。枠に彫刻などをした立派なものから簡単な木の枠に吊るしたものなど

色々な種類がある。日本の銅羅は歌舞伎の下座音楽に用いるものが代表的なものである。東南アジアの銅羅にはタイゴングなどよく知られている呼び名があるが、タムタム、ゴングを総称する「銅羅」はその形を一定することが出来ない楽器である。

トライアングル Triangle

タンバリンと同じように幼稚園の頃から親しまれている楽器。英語のTriangleには三角形のもの、三角関係、3人組、そして楽器用語では三角形の打楽器という意味がある。よく知られている楽器だけれどその祖先は古く、15世紀頃描かれた教会の絵（イギリス中部Warwickの聖メアリー教会）に現代のトライアングルと同じ形のものがあるとのことである。しかしこの時代の一般的な形は底辺に3～5個の輪が通してありジャラジャラ、ジャリジャリとにぎやかな音を出していたと想像出来る。オーケストラにトライアングルを用いた曲が登場したのは18世紀に入ってからである。そしてリストの“ピアノ協奏曲1番”などトライアングルが主役となる曲も作られている。N響の演奏旅行で南米のリオ・デ・ジャネイロに行った時のこと、町の楽器屋で1オクターブの音階に調律されたトライアングルを売っているのを楽員が見つけてきた。その話を聞いたのはその日の会場練習が始まる直前、値段も手頃だったなどと話を聞くにつれそのトライアングルが欲しくてたまらなくなってきた。が、ゲネプロは始まるし、終了後は直ちに団体バスでホテル行きで個人行動は許されない。となるとゲネプロ途中でぬけだす以外手はない、なんとかその楽器店に行ってみようという執念で出番のない協奏曲の練習になったとたん会場をとりだし、ききかじりの道を初見で走り運ぶ楽器店らしき店を発見、ウィンドを見ると…あった！小さめのトライアングルが8個セットになって吊り下がっている。直ちに店にとびこみ値を見ると購入可能な値。言葉など関係なくただひたすらトライアングルを指さし財布を見せて買う意志ありとのゼスチャー。店の人も汗をかいてとび込んできた東洋人にあおられて瞬時に売買成立。袋に入れてくれるのもどかしく再びひた走り演奏会場へ。次の出番の曲にはほんのわずかの差で間に合うことが出来た。珍しい楽器を手に入れるのは大変な努力と苦労が必要とされるものである。

トライアングルのよい演奏は撥によっても左右される。細めから太めまで各種の撥を一つのセットとして発売しているのはJPC。トライアングルを吊すひもにも色々工夫が必要である。細めの釣り用の糸と古皮を利用して専用のつりひもをN響ではいっぱい作成してストックしている。時々、洗濯バサミの親分みたいなホルダーをそのまま指にかけて演奏しているのを見かけるが、そのホルダーはカケ持ちなど忙しい時に譜面台などにトライアングルをひっかけるためにあるので、なるべく専用のひもを用意することをお願いする。

課題曲の打楽器パートについて

ちよつとしたアドヴァイス

東京芸術大学助教授
東京音楽大学講師

有賀 誠 門

——1985年度・吹奏楽コンクール課題曲から——

1. 演奏についてのアドヴァイス

体を鍛えましょう。
舞いなさい。振りなさい。動きなさい。
音が見えてくる。方向性があり、質があり、色がある。
“音楽を創るのは人間だ!”

A Overture FIVE RINGS 三枝成章作曲

始めのグロッケンには表情豊かに。幼い頃、あるいはつい3日前に体験したこと、感じたことの中にこの音を見つけることができると思います。それを感じながら演奏してみると驚くほど美しく聞こえるものです。

①からのパーカッション群の合の手は、七味唐辛のようにピリリと効かせましょう。

②の6小節めからのバスドラムは喜びをもって喜びのビートを刻みましょう。

この作品は、ティンパニスト次第で生き方が変わります。何よりもビート感が大切です。それが全てを踊らせるのです。

回吹奏楽のための交響詩『波の見える風景』真島俊夫作曲
海の風景からどのようなイメージをより具体的に描けるか

が鍵です。

グロッケンは大変難しいです。貴方がきらめくさざ波になったとすればどのような音が引き出されてくるでしょうか。グロッケンがさざ波ならば、バスドラムは深い海の底から湧き上がる振動、大きな波……。

そう、貴方が海になることです。そうすればおのづか他の楽器の表現も見えてくるでしょう。

C シンフォニックファンファーレとマーチ

仲本政国作曲

金管群の響き具合で打楽器の色が変わってきます。

トムトムは、ただリズムを刻むだけではなく舞うように! さあ、打楽器セクションの皆さん、協力して良い“のり”を作りましょう。(鳩を見て。鳩の“のり”はいかがかな? 足と首を良く見てね)

回 ホップ ステップ マーチ

森田一浩作曲

はじめてPOP

歩いてSTEP

皆で楽しくMARCHING さあ

7拍なRHYTHMでいってみよう!

使用楽器についてアドヴァイス

佐成ウインドオーケストラ 北野謙一

A Overture FIVE RINGS

この曲全体のバランスはパーカッションでもっているといっても過言ではないでしょう。

まずティンパニーですが、Eからの3連符の部分はハード・マレット(ソウル・グッドマンNo.5、プレイウッドVH、ヴィック・ファースT-4)を使うようにしたらどうでしょうか。柔らか目のマレットを使うと後半部で非常に苦勞します。というのは、fのときにリズムがはっきり出ないために強くたたき過ぎ、音楽をこわすおそれがあるからです。

鍵盤楽器はプラスチックのハード・マレット(サトー、マイク・バルターNo.10A、ヴィック・ファースM-7、プレミア)で。しかし、冒頭のグロッケンは、金属製よりもプラスチック製でヘッドの軽いもの(サトー)や硬質ゴム製(サトー、サイトウNo.101、マッサーM-4)を使って優しさを出すと良いでしょう。

バスドラムは、メリハリがはっきり出るように、そして出すすぎないように演奏してください。マレットは少し硬目でヘッドも少し重目のものの方がポイントを掴めます(サトーHard、JPC BM-21、ラディックNo.308、サトーLoud、トム・ゴーカーNo.6、パールNo.637)。

サスペンド・シンバルは18"が適当でしょう。(セイビアンMedium Ride、A・ジルジャンMedium Ride)。

回吹奏楽のための交響詩『波の見える風景』

この曲でのパーカッションの役割は、海の深さ、やさしさ、力強さを表現する気持ちを持って演奏することです。

はじめのグロッケンは、ハード・マレットで(サトー、マイク・バルターNo.9、10A、プレミア、ヴィックファースM-7)海の輝きの如く澄みきった気持ちで演奏しましょう。

バスドラムは少し柔らか目のマレットで雄大な気持ちで演奏してください(JPC BM-21、トム・ゴーカーNo.6、サトーMedium、JPC BM-31、サトーSoft、パールNo.637)。

ティンパニーは、音を響かせることを第1に考えてください。最後のソロの部分は特にそうです。力まないように!(ソウルグッドマンNo.2、ヴィックファースT-3、プレイウッドMedium Hard)。

C シンフォニックファンファーレとマーチ

マーチといっても淡々とリズムを刻むだけの曲想ではありません。メロディをしっかり覚えて充分歌ってください。

トムトムはハードマレット(ソウルグッドマンNo.5、プレイウッドVH、パールNo.662EH)を使うようにしましょう。リズム感をはっきり出さなければならないのですから、スネアドラムのスティックでシャープに演奏しても良いでしょう。

合せシンバルは18"から20"程度の厚みのあるもので演奏してください(セイビアンHHシリーズMedium Ride)。サスペンドシンバルも同様です(セイビアンMedium Ride、A・ジルジャンMedium Ride)。

回ポップ ステップ マーチ

全体的に他のパートを助けるつもりでバランス良く演奏してください。

バスドラムはハードマレットで鳴り過ぎないように(サトーHard、ラディックNo.308、JPC BM-21、トム・ゴーカーNo.6、パールNo.637)。

シンバルは、16"から18"程度の大きさで明るく軽妙な音で演奏しましょう(セイビアンConcert、Drum Corp)。

ティンパニーも出過ぎないように、音を響かせることを考えてください(ソウルグッドマンNo.5、プレイウッドHard)。

※上記のマレットや楽器類は例として挙げたものですが、これらを参考にして良い物を選ぶと良いでしょう。

——編集: J.P.C.

Timpaningen よっといで!



Premier
イギリス

Ludwig[®]
アメリカ

Pearl
日本

YAMAHA ティンパニー大集合!!
日本

ティンパニーの横綱はラディック、といっても過言ではない。が、ここ数年の間に、イギリスのプレミアが進出し始め、今や国産のパール、ヤマハも改良を重ね、肩を並べようとしている。この2社の進歩は目覚しく、ラディック党、プレミア党を自称するプロプレイヤー達も注目しつつある。

ところで学生を始め一般の人達の中でこの4社のティンパニーが一体どのように違うのか実際にたたき比べてみた人は少ないだろう。カタログを読んだところで良いことばかり書き連ねてあって却って迷うばかり。ブランドで選ぶか価格で選ぶか…。そこでJPC取材班はラディック、プレミア、パール、ヤマハ4社のティンパニーを集結させ、たたき比べと相成った。パール楽器製造と日本楽器製造(ヤマハ)からは技術者も同席するというTimpaningenにはヨダレの出そうな大饗宴であった(?)。

音を出す前に、各ティンパニーの特徴をカタログから抜粋してみる。

○ラディック…世界で初めてティンパニーにバランスアクション方式を取り入れた。バランスアクション方式とは、圧縮スプリングを使ってヘッドの張力とのバランスを取ることに、ペダルの動きを単純にし、任意の位置で停止させることができるもので、音楽界に於けるティンパニーの役割を大きく広げた。さらに、ケトルをフレームから独立させて、ケトルに伝えられた振動=音響を最大限に活かすダブルリング方式を用いている。



プレミアティンパニー

○パール…独自のバランススプリング方式だが、基本はラディックと同じである。チューニングゲージ付。

○ヤマハ…独自のバランススプリング方式。やはり基本はラディックと同様。テンションロッドがフレーム内に納まっているので、デザインはすっきり見える。チューニングゲージ付き。

○プレミア…ペダルにはクラッチ方式を用いているため、音域はバランス方式で普通4度から5度出るのに比べて1オクターブと広い。エリートモ

デルには独自に開発されたチューニングヒールというものが、簡単にチューニングの微調整ができるようになってい。チューニングゲージ付。

簡単な基礎知識がついたところで早速音を出してみる。

1: 音域

最低音を4種類設定した場合のそれぞれの最高音とペダルの操作性の変化を調べた。結果は表Iのとおり。

〈表I〉

メーカー及び機種	設定音	最高音	ペダルの操作性	設定音	最高音	ペダルの操作性
パール 〈プロフェッショナル・シンフォニーシリーズ〉 29"	F	D	踏み込んだ状態から戻す時重い	A	D	重い
	E ^b	C~C [#]	踏み込むと約半音戻りさらに重くなる	G	D	踏み込んだ状態で静止するが重い
ヤマハ 〈500Aシリーズ〉 29"	F	D~D [#]	非常に軽い	A	D	なめらか
	E ^b	C	さらに軽くなる fでたたくと微妙に動き音程が狂う	G	D	なめらか
ラディック 〈プロフェッショナル・モデル〉 29"	F	D	安定している	A	D	重い
	E ^b	C~C [#]	重い	G	D [#]	重い
プレミア 〈830シリーズ〉 28"	F	E	安定している	A	G	安定している
	E ^b	E ^b	安定している	G	F	安定している

ここで面白い実験をした。ティンパニーの限界まで音程を下げた時、音域はどうなるか? ラディックはA-Hの9度、パールはA-Aの1オクターブ、ヤマハはG-Gの1オクターブと非常に幅広い。もちろん下のGやAは実用的な音ではないが使い方によっては何ともいえない良い響きを聞かせてくれる。ティンパニーってスゴイ!

2: サウンドキングヘッドの場合の音域

各メーカーともプラスチックヘッドを装備しているが、ここで、全て同じヘッドを張ってみようという事で先日発売されたばかりのJPCサウンドキングヘッドを張った。(表II)音域が全体的に狭くなったのは、少々ヘッドが厚いためだろう。

3: 音色

Timpaningen一番気にするところの音色。プラスチックヘッドとサウンドキングヘッドとの違いも含めて表IIIの通りである。

4: 宴のあとに

各メーカーとも一長一短のようである。ブランド名のみにかかわらず、自分が“欲しい”と思う音で応えてくれる楽器の特徴を早く呑み込んで“自分のものにする”ことがベストなのである。

〈表II〉サウンドキングヘッドを張った場合

	設定音	最高音	ペダルの操作性
パール	F	C	重い
	A	D ^b ~D	
ヤマハ	F	C	安定している
	A	D ^b ~D	
ラディック	F	C	安定している
	A	D ^b ~D	
プレミア	F	D	安定している
	A	E	



ラディックティンパニー



パールティンパニー

〈表III〉ヘッドによる音色のちがい

	プラスチックヘッド	サウンドキングヘッド
パール	明るくパワーのある音色だが音が少々散る 音程とり易い	落ち着きのある重厚な音 低音がさらにパワーのある音になる音程はとり易いが鳴らすために力量が必要
ヤマハ	女性的な大人しい音色でまとまりがある 音程とりづらい	厚みがなくなり薄い音 低音に伸びがない
ラディック	明るい音でまとまりがある 音程とり易い	明るく伸びのある音(特に高音) 音程とり易い
プレミア	女性的で繊細な音 音程とり易い	弱さがカバーされ厚みのある音(4社の中では一番相性が良い) 音程とり易い



ヤマハティンパニー

正面左よりパール、ヤマハ、ラディック、プレミアの各ティンパニーとスタッフの皆さん



中古ドラム
大バーゲン
セール

7月13(土)~7月21日(日)

※スリンガーランド、ラディック、パール、グレッッチ、ロジャース他

※シンバル各種

——お問合せはDrum Cityまで——

名	名	価 格	免税価格	品 名	価 格	免税価格
ティンパニ				790 28°~40° ドラム用スタンドすべり止め付	24,000	
ラディック<プロフェッショナルモデル>				792 28°~32° ドラム用回転式スタンド	142,000	
835 N	20°	515,000	464,000	793 36°~40° ドラム用回転式スタンド	142,000	
879 N	23°	546,000	492,000	レフィーマ <バスドラム>		
814 N	26°	577,000	521,000	220 32°×20" 深胴	302,000	278,000
815 N	29°	640,000	577,000	221 40°×20" 深胴	496,000	458,000
878 N	32°	671,000	605,000	※全モデル 牛皮ヘッド ウッドシェル <バスドラムスタンド>		
※銅製 支柱バランスアクションペダル方式				40"用	159,600	
<スタンダードモデル>				スネアドラム		
836 N	20°	437,000	394,000	ラディック <スーパーセンシティブ>		
886 N	23°	460,000	415,000	410 5"×14" メタル	117,000	
795 N	26°	484,000	437,000	411 6½"×14" メタル	125,000	
797 N	29°	554,000	499,000	<スーブラフォニック>		
889 N	32°	593,000	534,000	400 5"×14" メタル	75,000	
※銅製 バランスアクションペダル方式				402 6½"×14" メタル	82,000	
パール<80シリーズ> プロフェッショナルシンフォニー>				<アクロライト>		
80 S	23°	414,000	360,000	404 5"×14" メタル	66,000	
80 M	26°	432,000	376,000	マリンバ		
80 L	29°	458,000	398,000	こおろぎ <マリンバ>		
80 L L	32°	498,000	433,000	650 K 4 oct. C ₂₈ ~C ₇₆ アフリカンバンドック音板	195,000	181,000
※クリアラッカー焼付塗装 銅製チューニングゲージ (TG-20) マレット ヘッドプロテクター付				650DX 4 oct. C ₂₈ ~C ₇₆ ホンジュラスローズウッド音板 他は650Kと同仕様	312,000	289,000
<53シリーズ シンフォニー・オートティンパニ>				<コンサートマリンバ>		
53 S	23°	210,000	183,000	700 4 oct. C ₂₈ ~C ₇₆ ホンジュラスローズウッド音板	450,000	417,700
53 M	26°	223,000	194,000	750 4 ½ oct. C ₂₈ ~F ₈₁ ホンジュラスローズウッド音板	590,000	547,700
53 L	29°	239,000	208,000	※全モデル マレット付		
53 L L	32°	268,000	233,000	マッサー <コンサートグランドマリンバ>		
※銅製 クリアラッカー焼付塗装 マレット ヘッドプロテクター 脚(3本1組) ハンドルチューニングキー付				M-250 4 ½ oct. A ² ~C ⁷ ローズウッド音板 A=442	1,644,000	1,492,000
ヤマハ <銅製ペダル>				※マレット カバー付		
TP-523A	23°	345,000	310,000	ヤマハ <コンサートマリンバ>		
TP-526A	26°	378,000	340,000	YM-400C 4 oct. C ₂₈ ~C ₇₆	430,000	399,000
TP-529A	29°	401,000	360,000	YM-4000 4 oct. C ₂₈ ~C ₇₆	590,000	547,000
TP-532A	32°	434,000	390,000	YM-4500 4 oct. C ₂₈ ~C ₇₆	720,000	668,000
※バランススプリング方式 銅製クリアラッカー焼付塗装仕上 チューニングインジケーター スレットティンパニグリス ヘッドプロテクター付				※全モデル ホンジュラスローズウッド音板 オープンボアーフイニッシュ音板		
ヤマハ <銅製ハンドル>				シロフォン		
TP-423	23°	233,000	210,000	こおろぎ <コンサートシロフォン>		
TP-426	26°	250,000	225,000	UX-300 3 ½ oct. F ₄₅ ~C ₈₈	250,000	232,000
TP-429	29°	272,000	245,000	UX-555 4 oct. C ₄₀ ~C ₈₈	345,000	320,200
TP-432	32°	300,000	270,000	※全モデル ホンジュラスローズウッド音板 マレット付		
※ハンドルチューニング式 ゴールドメタリック焼付塗装仕上 チューニングインジケーター マレットティンパニグリス ヘッドプロテクター付				マッサー <ポータブルケロンシロフォン>		
コンサートバスドラム				M-51 3 ½ oct. F ⁴ ~C ⁸ ケロン音板 A=A=442 マレット カバー付	552,000	508,000
ラディック <バスドラム>				ヤマハ <コンサートシロフォン>		
804 16"×32"		217,000		YX-300 3 oct. C ₅₂ ~C ₈₈	185,000	170,000
806 16"×36"		236,000		YX-350 3 ½ oct. F ₄₅ ~C ₈₈	340,000	315,000
808 18"×40"		325,000		※全モデル ホンジュラスローズウッド音板 オープンボアーフイニッシュ音板		
※全モデル ウッドシェル <バスドラムスタンド>						
789 28"×40" ドラム用フリーサスペンション回転式スタンド		200,000				

品名	価格	免税価格	品名	価格
ヴィブラフォン			コンガ	
サイトウ			LP	
VS-320 3oct. F ₃₃ ~F ₆₉	440,000	408,500	LP522-1 11"	145,000
300 3oct. F ₃₃ ~F ₆₉	595,000	552,400	LP559-1 11 $\frac{3}{4}$ "	151,000
※全モデル カバー付			LP552-1 12 $\frac{1}{2}$ "	158,000
マツサー <センチュリーヴァイブ>			ゴンポップス <4141シリーズ>	
M-75 3oct. ³ F ⁶ ゴールド仕上げ音板	1,446,000	1,320,000	ICL-4141 11"ウオルナット	205,000
<プロヴァイブ>			ITL-4141 12 $\frac{1}{2}$ "ウオルナット	225,000
M-55 3oct. F ³ ~F ⁶ シルバーサテン仕上げ音板	1,232,000	1,118,000	<4441シリーズ>	
※モデル 可変スピードモーター マレット カバー付			IQ-4441 9 $\frac{3}{4}$ "ナチュラル・オーク	218,000
ヤマハ <コンサートヴィブラフォン>			ICL-4441 11"ナチュラル・オーク	236,000
YV-1500 3oct. F ₃₃ ~F ₆₉	280,000	260,000	ITL-4441 12 $\frac{1}{2}$ "ナチュラル・オーク	256,000
YV-3000 3oct. F ₃₃ ~F ₆₉	400,000	371,000	<4125シリーズ>	
YV-3500 3oct. F ₃₃ ~F ₆₉	580,000	538,000	IQ-4125 9 $\frac{3}{4}$ "マホガニー	174,000
※全モデル 高力アルミ合金音板 DCブラシレスモーター/制御器付(YU-3000、3500は制御器にタッチスイッチ付)			ICL-4125 11"マホガニー	188,000
			ITL-4125 12 $\frac{1}{2}$ "マホガニー	206,000
			パール <マホガニー>	
			125M 12 $\frac{1}{2}$ "	120,000
			115M 11 $\frac{1}{2}$ "	115,000
			105M 10"	110,000
グロッケン			ボンゴ	
サイトウ			LP <プロフェッショナルボンゴドラム>	
SG-100 F ₅₇ ~C ₈₈ 硬質スチール音板 マレット ケース付	89,000	82,600	LP201A スタンダード	96,000
マツサー <オーケストラベル>			LP201E グリッター	96,000
M-645 2 $\frac{1}{2}$ oct. G ⁵ ~C ⁸ アルミニウム音板 マレット付	260,000	236,000	ゴンポップス	
ヤマハ <グロッケン>			IB-3400 7 $\frac{1}{2}$ "×8 $\frac{1}{2}$ " ウオルナット	83,000
YG-50C 2 $\frac{1}{2}$ oct. F ₅₇ ~C ₈₈	38,000	35,000	IB-3414 7 $\frac{1}{2}$ "×8 $\frac{1}{2}$ " ウオルナット	91,000
YG-250C 2 $\frac{1}{2}$ oct. F ₅₇ ~C ₈₈ 1ビス方式	52,000	48,000		
<コンサートグロッケン>				
YG-1000 2 $\frac{1}{2}$ oct. F ₅₇ ~C ₈₈ 1ビス方式	120,000	111,000		
※全モデル スチール音板 マレットケース付				

1985

'85 オリジナルTシャツセール プレゼント

6.30(SUN) → 7.21(SUN)

☆ドラム・シティ、ジャパン・パーカッション・センターにて15,000円以上お買い上げの方にもれなくプレゼント!

☆1枚2,000円で販売もいたします。品切れの場合はご容赦ください。(会員価格1,600円)

byジャパン・パーカッション・センター
ドラムシティ

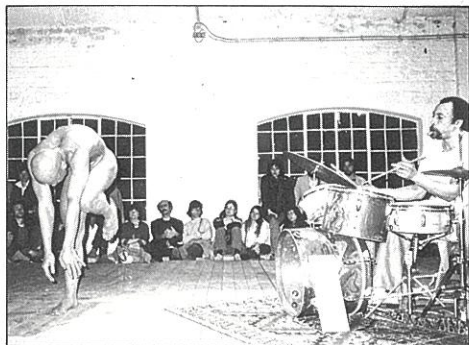
Drumcity

Performance

Milford Graves

ミルフォード・グレイヴス

2月末に3度目の来日をしたミルフォード・グレイヴス。現在ニューヨークを中心として、音楽活動はもちろん、鍼やお灸に興味を持ち自ら診療所の所長となって音楽療法を行い、そのうえ大学の音楽教授までしているスゴイ人。今回の来日活動は、舞踏家田中浜氏とのデュオ、ソロコンサート、ドラムクリニックと、知る人ぞ知る、知らぬ人には衝撃のパフォーマンス。



2月24日、東京中野「Plan-B」で行われたクリニックには沢山の人が集まり熱気ムンムン。まず、太鼓の歴史を語り始めた。

発祥の地は西アフリカ。その昔、西アフリカで行われた儀式は、司祭が大きなマラカスのようなものを振り回し、歌うというよりは吠えるように怪し気な祈りの言葉を誦えるものだった。人々は、それに合わせて踊り、そのうちトランス状態に入る。これを見て司祭が体に耳を当てて精霊の声を聞き(実は心臓の音)、声が聞こえれば、精霊が体内に入り込んだ、メダシ、メダシということで儀式が終わる。何故心臓の音を聞くのかというと、精神状態によって心音のトーンが変わるのだそうで、昔の司祭はそれを聞き分けることができたからなのだ。ミルフォード氏自身も、診療所で患者さんに良い状態の心音を聞かせている。すると不思議なことに、乱れている患者さんの鼓動が良い状態になってくるのだそうだ。それは、体が良いリズムを覚えている、そちらに合わせてやうとするからで、この方法はだいたい効果があるようだ。

さて、西アフリカの人々は、儀式にあやかろうとある物を作った。人間の体を表わす筒のようなもの、心臓の鼓動と脈搏の音を表わせるもの、そして精霊の声。この3つを合わせたものが初期の太鼓である。筒はシェル、音は皮、声は太鼓の中の石ころ(のようなもの)となり、さらに変化して現在

の太鼓になっている。今でもこの地方の太鼓の中には、「何か」が入っている。さらに、いつも大小2つの太鼓が使われ、1つは自然の中にある巨大なリズム(惑星運動のような宇宙的なリズム)、もう1つは人間の体内にあるリズム(鼓動と脈搏)を表わしている。

この人間が生来持ち合わせているリズムを楽器で表わしてみた。鼓動をシンバルで、脈搏はバッドラムとハイハットで。すると何と、ジャズの基本リズム、4ビートが出来上がってしまう!!こうして考えてみると、打楽器とは何と原始的(根源的)かつ崇高なものなのだろう。

話の合い間にドラムセットを叩いたり、タンボラを叩きながら歩きまわったり。その手が速く動くことと云ったら!

2、3人が挑戦したのだが、とても太刀打できる速さではない。このことについて彼は、「速く動く」という感覚ではなく、「早くもとの位置(0の状態)に戻る」という感覚、そしていくつもの楽器を叩いても、それを「1つのサウンド」としてとらえる感覚を持つようにと話してくれた。そのためには、体の内をいつも振動させていること、そしてそのリズムを自分で自由自在にコントロールできるようにすることだそうだ。

2月28日のソロコンサートは1時間以上休みなく演奏。

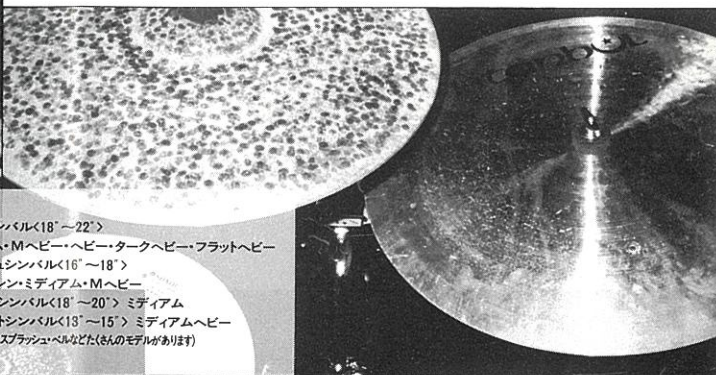
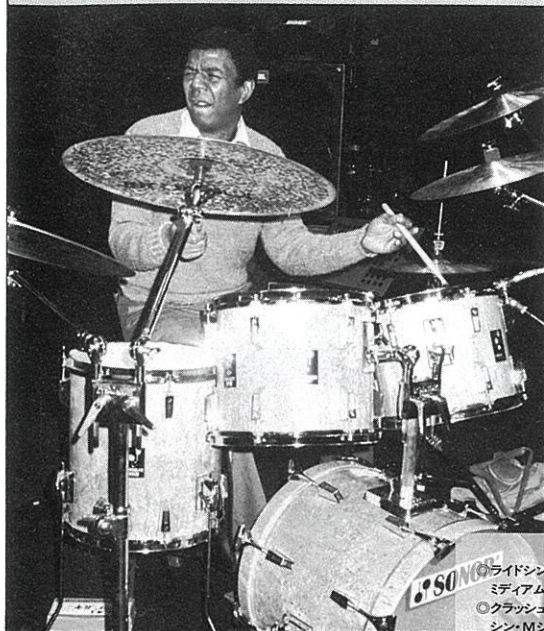
ステージの向うから何やら音が聞こえる。スティックで床を叩いている音だ。ソデからスティックを持った手がニュッと出て、だんだんミルフォード氏が現われてくる。ステージの床を叩きながらグルグルまわり奇声を発してステージから飛び降りるように飛び落ちた。ステージ下にセットしてあるドラムセットの前に座ると不思議な音楽が始まる。気にすまいと思っても気になってしまうもの凄く速さでスティックが太鼓の上を走り回る。その中に微かに感じる安定したリズムの、ようなもの。感動する間もなく、タンボラを取り上げて首にかけ、呪文のようなリズムを刻みながら大声で歌い出す。そのままゴロンと寝ころんだり、スタッフの一人を肩車したり、会場の中を歩きまわったり……。突然客席で子供が笑い出した。ケラケラッ。ミルフォード氏、透かさずこれに応えケラケラッ。子供が何やら奇声をあげた。彼も同じように奇声をあげる。一斉に緊張感が無くなった。皆、彼のリズムに反応したくともなりきれない状態だったのが、パッと開放されて空気の流れが変わった。皆ひとつのリズム、音楽或いは他の何かになってしまった。永遠に続くかと思った瞬間ブツッ音が消えた。儀式が終わった。

中央：ミルフォード・グレイヴス氏、むかつて右側：田中浜氏



遂に「DRUM CITY」に! 『360年の歴史をもつイスタンブールシンバル』

Tukeyの刻印は、長い伝統の証。厳選された最高の材質をその長い歴史に受け継がれてきた職人の秘法に基づき、秀れた技術を一枚一枚に駆使して磨き上げられた結晶が今、イスタンブールプロフェッショナルシンバルとして、本物のサウンドの中に完成された。全世界で活躍する「ジャック・ディジョネット」をはじめ、「メル・ルイス」、「デニー・セイウェル(ウイングス)」、「グラハム・レア(サンタナ)」など世界のTOPドラマーに広く愛用され、そのサウンドは、シンバル業界の驚異となり、今や不動の地位を築き上げている。この温かみのある「手作りの心」は、イスタンブール・シンバルサウンドの真髄として熱いまなざしで注目されながら上陸して来る。(7月入荷予定予約受付中)



- ライドシンバル(18"~22")
- ミディアム・Mヘビー・ヘビー・タークヘビー・フラットヘビー
- クラッシュシンバル(16"~18")
- シン・Mシン・ミディアム・Mヘビー
- チャイナシンバル(18"~20") ミディアム
- ハイハットシンバル(13"~15") ミディアムヘビー
- (他にスウィッシュ・ブラス・ベルなど(ほとんどのモデルがあります))



◇ジャック・ディジョネット使用
セットアップ
20"ターク(アンフィニッシュド)ヘビーライド
20"ミディアム・チャイナ、20"ヘビーフラットライド
16"ミディアム・クラッシュ、14"ミディアム・ヘビーハイハット

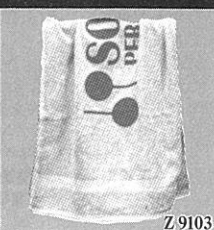


istanbUL

Handmade Cymbals From Turkey

《ソナー・オリジナルグッズ発売》

- Z-9101 Tシャツ ¥2,500
 - Z-9100 スウェット・シャツ ¥6,300
 - Z-9104 ツアー・ジャケット ¥27,600
 - Z-9103 スポーツ・タオル ¥2,000
- (ジャケット・Tシャツ、サイズ:S・M・L・XL / JPC会員2割引)



“我らパーカッション”

このコーナーは、全国の吹奏楽団、交響楽団の打楽器パートだけの自己紹介の場として、色々と交流を深めて行きたいと思います。

高知商業高校吹奏楽部

- A 1.市川味加(17)、松下真己(17)、大谷緑(16)、前川博之(15)
A 2.S.D.(ラディック)、B.D.(ラディック)、Timp.(ラディック)、Drums.(パール)、Cym.(ジルジャン)、Vib.(ヤマハ)、Xylo.(ヤマハ)、Glock.(ヤマハ)他
A 3.シャカタク、丸山晋司
A 4.打楽器教則本(全音)、ティンパニー教本(音友)、マリンバ教則本(共同)、ロックドラム奏法(ドレミ)他
A 5.NO.
A 7.Yes.
A 8.人が少ないこと。変り者の集まりで、練習中ときどき雑談が過ぎる事が困っています。
A 9.このパートは図太い神経の持ち主の集まりなので、合奏中でも平気で個人練習をやってしまう…。けど、楽しくまたきびしい演奏を目指してがんばっています。
連絡先：〒780 高知県高知市大谷6
高知商業高校音楽部



質問事項

- 1.氏名(年齢)
- 2.使用打楽器(ブランド名)
- 3.好きなプレイヤー(影響を受けたプレイヤー)
- 4.使用している教則本
- 5.パート及び個人でレッスンを受けていますか？(Yes、Noで)
- 6.Yesの方、先生のお名前をお書き下さい。
- 7.打楽器アンサンブルをやっていますか？
- 8.打楽器パートとしての問題点、悩みなど…。
- 9.打楽器パートか団のPRをどうぞ。



今治東高等学校吹奏楽部

- A 1.山本さつき(15)、白石美香(16)、曾我部みさ(16)、伊藤真由美(17)、管真弓(18)、山田真千子(17)
A 2.S.D.(ラディック)、B.D.(ラディック)、Timp.(ラディック)、Cym.(ジルジャン)、Vib.(ヤマハ)、Xylo.(ヤマハ)、Glocken(ディーガン)、Tom-tom(ヤマハ)他
A 3.田舎なので特になし
A 4.特になし
A 5.NO.
A 7.NO.
A 8.個人、パート練習をする場所がなく全体合奏しかできない。
A 9.顧問の先生からコミックバンドのパーと呼ばれても少しもめげない、力強い美女の集団です。今年は、コミックバンドからの脱皮を目標にがんばります。
連絡先：〒799-15 愛媛県今治市古国分字法印谷甲151
今治東高等学校唯奏楽部

今治北高等学校吹奏楽部

- A 1.松木紀子(17)、中村真理(17)、玉谷裕子(16)、浦田弘美(16)、阿部由香子(16)、阿部佳小利(16)、山本雅子(15)、藤原千夏(15)
A 2.S.D.(ラディック他)、B.D.(ラディック他)、Timp.(ラディック)、Drums.(ヤマハ)、Chime.(プレミア)、Cym.(ジルジャン)、Mrb.(ヤマハ)、Vib.(ヤマハ)、Xylo.(ディーガン)、Glocken(プレミア)他
A 3.岡田知之、吉原すみれ
A 4.打楽器教則本(全音)、ティンパニー教本(音友)他
A 5.NO.
A 7.Yes.
A 8.これといって目立つ存在の人がいないこと。
A 9.それぞれの個性を生かした演奏が出来る様に毎日練習を積んでいます。これからの課題としてチームワークの良さを大切にし、技術向上をはかりたいと思います。
連絡先：〒794 愛媛県今治市宮下町2-2-14
今治北高等学校吹奏楽部



☆JPC・サマー・キャンプ☆

タイトル：Body Vibration 体を振動させよう！

Action 1 (ichi) パートV

.....
 手拍子や足踏みは立派なりズムです。そして呼吸も心臓の鼓動も、さらには人生さえもその人自身の体から生まれるリズムであり、音楽なのです。恵まれた環境の中で、リズムの原点を体感しませんか。

と き…7月28日～8月1日（4泊5日）

ところ…河口湖畔

チーフインストラクター…有賀誠門（芸大助教授）

サブインストラクター…北野謙一（佼成ウインドオーケストラ）他

ゲスト…竹内敏晴（竹内演劇研究所主宰）

参加料…46,000円

定員…20名

●原則としてスネアドラム、スタンド、スティック、マレット等は各自持参してください。（お持ちにならない方は、その旨お知らせください。）

申込方法：下記申込書に必要事項を記入のうえ、参加料を添えてお申し込みください。（来店できない場合は現金書留で郵送してください。）

申込〆切：昭和60年7月20日必着（定員になり次第〆切らせていただきます）

お問合せ、申込先：〒111 東京都台東区西浅草1-7-1
 武藤ビル2F

ジャパン・パーカッション・センター
 JPCサマー・キャンプ係
 TEL.03-845-3041～2(担当石井)

詳細は申込者に別途お知らせ致します。

-----キリトリ線-----

'85 JPCサマーキャンプ申込書

フリガナ		男女	生年月日	大昭	年	月	日	才
氏名	(印)							
住所	〒			Tel				
学校名又はおつとめ先								
保護者氏名	(印) ※保護者名は、学生又は未成年の方のみ記入してください。							

参加費 ¥46,000

'85JPCサマーキャンプに参加費を添えて申し込みます。

＝ 共鳴板 ＝

JPCの皆さま方、その後いかがお過ごしでしょうか？

私、先月プレミアチャイム・バイカウントモデルを購入した関水由美(JPC4199)です。その節は大変お世話になりました。

さて、そのチャイムをさっそく4月21日に行われた、私が所属している大和市民吹奏楽団第7回定期演奏会にて使用させていただきました。簡単に感想を言いますと、細身のわりに音がしっかりしていること、従来のチャイムに比べて素朴な感じの音色（私はそう感じましたが…）であっ

たこと、運搬が楽なこと、ですっかり気に入りました。

現在分解して自宅に置いてあります。また本体には個人持ちの証明(?)としてマスコットをぶら下げております。

ともかく、このチャイムのおかげで今回の演奏会を無事終わらせることができました。

今度、当日の演奏会の写真とチャイムを使った曲の録音テープを送ります。Perc.については失敗が多いので恥ずかしい限りですが…。詳しいことはまた次の機会に。

1ヶ月以上たちましたが、まずはお礼まで。

JPC4199 関水由美

◀JPCだより▶

●去る5月26日(日)、草月会館ホールに於て、打楽器協会主催による『打楽器新人演奏会』が開かれた。この演奏会は、日本中の若いプレイヤーに演奏の場を与え、芽を伸ばそうという目的で開かれたもので、出演は梯郁夫(60年東京音大卒)、鈴木真理(60年大阪芸大卒)、高山泰利(59年東京芸大卒)、瓜山郷子(57年桐朋学園卒)、小笹雅子(56年京大芸大卒)、新谷祥子(59年国立音大卒)の6名。特に目立



ったのは新谷さんの“コンチェルティーノ”(J.パリッサ作曲)と梯さんの“Thought of children part2-5”(自作)。新谷さんは、昨年の管打コンクール3位入賞の貫禄充分という感じで一番輝いていたようだ。梯さんは最終楽章でシンセサイザーやドラムマシンを駆使し時代の流れを感じさせた。このコンサートの今後に期待したい。

●1985年度版打楽器価格一覧表が完成しました。同封の無料引換券をご持参ください。コマキ楽器、ジャパン・パークッション・センター、ドラム・シティにて差し上げます。郵送の場合は送料350円(切手又は現金)を同封のうえお申し込みください。

●昭和60年分会費振込用紙を同封いたしましたので、未納の方はお早めにお振込みください。6月15日現在ですので行き違いお振込みの場合はご容赦ください。

●休業のお知らせ

8月1日～3日、棚卸のため、コマキ楽器、ジャパン・パークッション・センター、ドラム・シティ各店休業させていただきます。

表紙：ヴィック・ファース

昭和60年7月1日発行
 発行所 J・P・C・事務局
 〒111 東京都台東区西浅草一―七―
 (武蔵ビル2F)
 電話 〇三―八四五―三〇四―(代)
 郵便振替口座 東京九―一五三一―一五
 加入者名 (株)コマキ楽器

今年の梅雨は素敵ですね。私好きです、こういうつきりした梅雨。雨は好きじゃないけど。変ですか？「さつき晴れ」っていうのは、5月のよく晴れた日のことをいうのではなくって、6月の梅雨のあい間に顔を覗かせる青空のことをいうのだそうです。うん、確かにスカッとします。ホッとします。ウキウキします。やがてやって来る夏を感じながら、今回のミルフォード・グレイヴスの記事の中で、心臓の鼓動をシンバルに、脈搏をバスドラムとハイハットに置き換えるとJAZZのリズムになる」という部分がありました。ある日、友人と一緒には大発見、大ショックでした。ある日、友人と一緒に「A列車で行こう」や「ムーン・ライト・セレナーデ」等のスタンダードジャズナンバーをディスコミュージックっぽくアレンジしたレコードを聴いていまして、その友人が言うには、「JAZZがこのリズムに合っちゃうんだよね。どうしてなのかなあ。」私、すかさず思いました。「鼓動と脈搏なんだ。うん、そーなんだ。そーか、そーか！」って。勝手に決めて勝手にホクソエンデいたんですけど。今や、世の中全て画一化されつつあります。でもその中で絶対に変わらないもの、それがリズムだと思のです。たたけば音が出る、誰にでもできる…。確かに原始的ですね。当り前です。私達みんなが持っているリズム、心臓の鼓動を表現しているだけなんです。そしてこのリズムから人間は一生逃れることはできないのです。なんて、ちょっとオーバーかな？—M—

編集後記